



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年11月8日

上場会社名 東レ株式会社
コード番号 3402 URL www.toray.co.jp

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大矢 光雄
問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 松村 俊紀 TEL 03-3245-5178
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期 第2四半期	1,199,376	△4.9	48,671	△10.6	44,445	△39.8	48,979	△42.4	33,006	△47.6	28,867	△51.2
2023年3月期 第2四半期	1,261,794	18.7	54,421	△22.5	73,797	7.0	84,976	4.6	62,991	△5.1	59,112	△3.0

(注) 四半期包括利益合計額 2024年3月期第2四半期 182,051百万円(2.4%) 2023年3月期第2四半期 177,777百万円(121.1%)

事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	18	03	17	99
2023年3月期第2四半期	36	92	36	86

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
2024年3月期第2四半期	3,416,334	1,798,419	1,693,314	49.6				
2023年3月期	3,194,041	1,635,810	1,535,028	48.1				

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00	
2024年3月期	—	9.00	—	—	—	
2024年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,540,000	2.0	120,000	25.0	71,000	△2.5	44	33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	1,631,481,403株	2023年3月期	1,631,481,403株
2024年3月期2Q	29,838,310株	2023年3月期	30,457,569株
2024年3月期2Q	1,601,436,765株	2023年3月期2Q	1,600,907,605株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、【添付資料】4ページ「1. 経営成績等の概況(2) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績・財政状態の概況	2
(2) 今後の見通し	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(6) 継続企業の前提に関する注記	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績・財政状態の概況

(当四半期の経営成績)

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	1兆1,994億円	△4.9%
事業利益	487億円	△10.6%
営業利益	444億円	△39.8%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	289億円	△51.2%

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～9月30日)の世界経済は、欧米を中心としたインフレと利上げの影響に加え、中国の回復が鈍化したこと等から回復に力強さを欠きました。国内経済については、コロナ禍からの正常化の動きが続いていますが、欧米景気の不透明感や半導体市場の調整長期化が下押し圧力となりました。

このような事業環境の中で、当社グループは「持続的かつ健全な成長」を目指し、2023年度からは「持続的な成長の実現」「価値創出力強化」「競争力強化」「『人を基本とする経営』の深化」「リスクマネジメントとグループガバナンスの強化」の5つを基本戦略とした中期経営課題“プロジェクト AP-G 2025”を推進しています。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上収益は前年同期比4.9%減の1兆1,994億円、事業利益(注1)は同10.6%減の487億円となりました。営業利益は同39.8%減の444億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同51.2%減の289億円となりました。

事業分野ごとの状況は以下のとおりです。

【繊維事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	4,812億円	△5.5%
事業利益	272億円	13.9%

衣料用途は欧米の市況悪化の影響を受けましたが、国内は商事子会社が堅調に推移しました。衛材用途は需給バランスの悪化から低調に推移しました。産業用途は自動車用途で需要回復が続いたほか、欧州における天然ガス等の価格低下からスプレッドが改善しました。

以上の結果、繊維事業全体では、売上収益は前年同期比5.5%減の4,812億円、事業利益は同13.9%増の272億円となりました。

【機能化成品事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	4,331億円	△8.5%
事業利益	145億円	△42.2%

樹脂・ケミカル事業は、樹脂事業が中国市場の需要減少等の影響により低調となりました。フィルム事業は電子部品関連において、サプライチェーンの在庫調整により、需要が減少しました。

電子情報材料事業は、有機EL関連材料・回路材料の需要に回復が見られました。

以上の結果、機能化成品事業全体では、売上収益は前年同期比8.5%減の4,331億円、事業利益は同42.2%減の145億円となりました。

【炭素繊維複合材料事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	1,411億円	0.8%
事業利益	76億円	35.9%

風力発電翼用途が調整局面となりましたが、航空宇宙用途の需要が回復傾向となったほか、一般産業用途において圧力容器用途が拡大しました。

以上の結果、炭素繊維複合材料事業全体では、売上収益は前年同期比0.8%増の1,411億円、事業利益は同35.9%増の76億円となりました。

【環境・エンジニアリング事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	1,115億円	5.2%
事業利益	102億円	23.3%

水処理事業は、逆浸透膜の2大市場である米中での出荷が堅調に推移しました。また、国内の建設子会社の売上が堅調に推移しました。

以上の結果、環境・エンジニアリング事業全体では、売上収益は前年同期比5.2%増の1,115億円、事業利益は同23.3%増の102億円となりました。

【ライフサイエンス事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上収益	248億円	△4.3%
事業利益	△5億円	—

医薬事業は、経口そう痒症改善薬レミッチ[®](注2)において、後発医薬品発売の影響と薬価改定の影響を受けたほか、経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー[®]が海外で在庫調整の影響を受けました。

医療機器事業は、透析機器が原燃料価格高騰の影響を受けました。

以上の結果、ライフサイエンス事業全体では、売上収益は前年同期比4.3%減の248億円、事業利益は同9億円減の5億円の損失となりました。

(注) 1. 事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

2. レミッチ[®]は、鳥居薬品㈱の登録商標です。

(財政状態の概況)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、資産・負債ともに、円安による海外子会社の円換算額増加の影響がありました。

資産は、営業債権及びその他の債権や棚卸資産、有形固定資産が増加したことを主因に、前連結会計年度末に比べ2,223億円増加し3兆4,163億円となりました。

負債は、借入金が増加したことを主因に、前連結会計年度末に比べ597億円増加し1兆6,179億円となりました。

資本は、利益剰余金やその他の資本の構成要素の増加を主因に、前連結会計年度末に比べ1,626億円増加し1兆7,984億円となり、このうち親会社の所有者に帰属する持分は1兆6,933億円となりました。当第2四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比べ1.5ポイント上昇し49.6%となりました。

(2) 今後の見通し

世界経済は、欧米でのインフレ・高金利による個人消費や設備投資の意欲低下、中国経済の足踏みや中東情勢の悪化により、回復ペースは緩やかなものに留まると見られます。国内経済も緩やかな回復が見込まれます。ただし、中国での不動産不況の深刻化、食料やエネルギーなど一次産品価格の不安定、そして欧米での持続するインフレに対処するための金融引き締め継続等が内外経済の下振れ材料として挙げられます。

このような状況の下、当社グループは、中期経営課題“プロジェクト AP-G 2025”の基本戦略を推進し、不確実性に備えた事業運営を実行してまいります。

当連結会計年度の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績動向及び事業環境等を踏まえ、通期の予想を売上収益は2兆5,400億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は710億円に変更いたしました。事業利益につきましては、2023年8月7日に公表した予想数値から変更ありません。なお、10月以降の為替レートは140円／ドルを想定しています。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	223,995	212,590
営業債権及びその他の債権	586,114	624,859
棚卸資産	521,598	554,241
その他の金融資産	30,692	42,905
その他の流動資産	66,301	69,302
売却目的で保有する資産	579	11,836
流動資産合計	1,429,279	1,515,733
非流動資産		
有形固定資産	1,007,843	1,066,632
使用権資産	49,149	50,217
のれん	95,451	110,111
無形資産	84,575	94,880
持分法で会計処理されている投資	234,645	249,462
その他の金融資産	214,730	232,139
繰延税金資産	24,269	26,225
退職給付に係る資産	40,146	54,180
その他の非流動資産	13,954	16,755
非流動資産合計	1,764,762	1,900,601
資産合計	3,194,041	3,416,334

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	324,140	320,170
社債及び借入金	376,993	435,025
リース負債	10,022	10,703
その他の金融負債	11,133	14,513
未払法人所得税	9,018	14,010
その他の流動負債	94,905	100,496
流動負債合計	826,211	894,917
非流動負債		
社債及び借入金	534,121	511,342
リース負債	28,957	28,894
その他の金融負債	5,783	6,173
繰延税金負債	56,309	70,642
退職給付に係る負債	91,979	91,950
その他の非流動負債	14,871	13,997
非流動負債合計	732,020	722,998
負債合計	1,558,231	1,617,915
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	147,873	147,873
資本剰余金	120,919	120,769
利益剰余金	1,037,120	1,067,795
自己株式	△19,617	△19,220
その他の資本の構成要素	248,733	376,097
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,535,028	1,693,314
非支配持分	100,782	105,105
資本合計	1,635,810	1,798,419
負債及び資本合計	3,194,041	3,416,334

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	1,261,794	1,199,376
売上原価	△1,046,887	△986,517
売上総利益	214,907	212,859
販売費及び一般管理費	△164,162	△167,419
その他の収益	27,102	4,295
その他の費用	△4,050	△5,290
営業利益	73,797	44,445
金融収益	6,216	6,297
金融費用	△4,580	△8,697
持分法による投資利益	9,543	6,934
税引前四半期利益	84,976	48,979
法人所得税費用	△21,985	△15,973
四半期利益	62,991	33,006
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	59,112	28,867
非支配持分	3,879	4,139
四半期利益	62,991	33,006
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	36.92	18.03
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	36.86	17.99

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	62,991	33,006
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	△4,248	24,010
確定給付制度の再測定	977	9,977
持分法によるその他の包括利益	11	373
項目合計	△3,260	34,360
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	821	70
ヘッジコスト	△329	△1
在外営業活動体の換算差額	117,553	114,618
持分法によるその他の包括利益	1	△2
項目合計	118,046	114,685
その他の包括利益合計	114,786	149,045
四半期包括利益	177,777	182,051
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	170,343	173,214
非支配持分	7,434	8,837
四半期包括利益	177,777	182,051

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式
2022年4月1日残高	147,873	120,698	978,980	△19,813
四半期利益	—	—	59,112	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	59,112	—
新株予約権の行使	—	△181	—	181
株式報酬取引	—	200	—	—
配当金	—	—	△12,812	—
支配継続子会社に対する持 分変動	—	10	—	—
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	1,775	—
その他	—	—	—	△0
所有者との取引額等合計	—	29	△11,037	181
2022年9月30日残高	147,873	120,727	1,027,055	△19,632

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									
	その他の資本の構成要素								非支配 持分	資本 合計
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 資本性 金融資産	キャッシュ ・フロー・ ヘッジ	ヘッジ コスト	在外営業 活動体の 換算差額	確定給付 制度の 再測定	その他の 資本の 構成要素 合計	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計			
2022年4月1日残高	74,648	△509	328	103,386	—	177,853	1,405,591	94,058	1,499,649	
四半期利益	—	—	—	—	—	—	59,112	3,879	62,991	
その他の包括利益	△4,168	823	△329	113,950	955	111,231	111,231	3,555	114,786	
四半期包括利益	△4,168	823	△329	113,950	955	111,231	170,343	7,434	177,777	
新株予約権の行使	—	—	—	—	—	—	0	—	0	
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	200	—	200	
配当金	—	—	—	—	—	—	△12,812	△3,541	△16,353	
支配継続子会社に対する持 分変動	—	—	—	—	—	—	10	△33	△23	
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	△820	—	—	—	△955	△1,775	—	—	—	
その他	—	△1,371	—	—	—	△1,371	△1,371	240	△1,131	
所有者との取引額等合計	△820	△1,371	—	—	△955	△3,146	△13,973	△3,334	△17,307	
2022年9月30日残高	69,660	△1,057	△1	217,336	—	285,938	1,561,961	98,158	1,660,119	

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式
2023年4月1日残高	147,873	120,919	1,037,120	△19,617
四半期利益	—	—	28,867	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	28,867	—
新株予約権の行使	—	△398	—	398
株式報酬取引	—	196	—	—
配当金	—	—	△14,417	—
支配継続子会社に対する持 分変動	—	51	—	—
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	16,225	—
その他	—	—	—	△1
所有者との取引額等合計	—	△150	1,808	397
2023年9月30日残高	147,873	120,769	1,067,795	△19,220

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	その他の資本の構成要素								
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 資本性 金融資産	キャッシュ ・フロー ・ ヘッジ	ヘッジ コスト	在外営業 活動体の 換算差額	確定給付 制度の 再測定	その他の 資本の 構成要素 合計	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
2023年4月1日残高	81,367	2	121	167,243	—	248,733	1,535,028	100,782	1,635,810
四半期利益	—	—	—	—	—	—	28,867	4,139	33,006
その他の包括利益	23,706	69	△1	110,707	9,866	144,347	144,347	4,698	149,045
四半期包括利益	23,706	69	△1	110,707	9,866	144,347	173,214	8,837	182,051
新株予約権の行使	—	—	—	—	—	—	1	—	1
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	196	—	196
配当金	—	—	—	—	—	—	△14,417	△4,235	△18,652
支配継続子会社に対する持 分変動	—	—	—	—	—	—	51	△279	△228
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	△6,359	—	—	—	△9,866	△16,225	—	—	—
その他	—	△758	—	—	—	△758	△759	—	△759
所有者との取引額等合計	△6,359	△758	—	—	△9,866	△16,983	△14,928	△4,514	△19,442
2023年9月30日残高	98,714	△687	120	277,950	—	376,097	1,693,314	105,105	1,798,419

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	84,976	48,979
減価償却費及び償却費	63,498	63,555
減損損失(又は戻入れ)	1,017	562
持分法による投資損益	△9,543	△6,934
金融収益及び金融費用	△1,684	1,255
子会社の支配喪失に伴う損益	△25,066	—
営業債権及びその他の債権の増減額	△39,369	△19,953
棚卸資産の増減額	△55,665	△4,128
営業債務及びその他の債務の増減額	18,907	△9,070
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△284	10
その他	2,395	3,589
小計	39,182	77,865
利息の受取額	1,211	2,651
配当金の受取額	5,454	5,075
利息の支払額	△4,162	△7,651
法人所得税の支払額又は還付額	△21,819	△11,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,866	66,303
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△44,817	△62,046
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	677	1,642
子会社の取得による支出	—	△6,456
投資の取得による支出	△1,377	△1,513
投資の売却及び償還による収入	2,785	10,858
その他	△5,090	△528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,822	△58,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入債務の純増減額	50,354	△11,659
社債の発行及び長期借入れによる収入	30,227	57,063
社債の償還及び長期借入金の返済	△55,250	△54,587
リース負債の返済による支出	△5,815	△5,781
親会社の所有者への配当金の支払額	△12,807	△14,410
非支配持分への配当金の支払額	△3,541	△4,236
その他	△27	△262
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,141	△33,872
現金及び現金同等物の為替変動による影響	20,809	14,207
現金及び現金同等物の増減額	△4,006	△11,405
現金及び現金同等物の期首残高	230,355	223,995
現金及び現金同等物の四半期末残高	226,349	212,590

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	繊維事業	機能化成品 事業	炭素繊維複 合材料事業	環境・エン 지니어リン グ事業	ライフサイ エンス事業				
売上収益									
外部顧客からの 売上収益	509,034	473,304	139,986	106,052	25,873	7,545	1,261,794	—	1,261,794
セグメント間 売上収益	717	11,712	334	17,074	—	13,413	43,250	△43,250	—
計	509,751	485,016	140,320	123,126	25,873	20,958	1,305,044	△43,250	1,261,794
事業利益	23,885	25,080	5,592	8,267	345	1,030	64,199	△9,778	54,421

(注) 1. 「その他」は分析・調査・研究等のサービス関連事業等です。

2. 事業利益の調整額△9,778百万円には、セグメント間取引消去395百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△10,173百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費です。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	繊維事業	機能化成品 事業	炭素繊維複 合材料事業	環境・エン 지니어リン グ事業	ライフサイ エンス事業				
売上収益									
外部顧客からの 売上収益	481,231	433,095	141,137	111,549	24,773	7,591	1,199,376	—	1,199,376
セグメント間 売上収益	963	8,802	431	20,502	—	13,956	44,654	△44,654	—
計	482,194	441,897	141,568	132,051	24,773	21,547	1,244,030	△44,654	1,199,376
事業利益(△損 失)	27,204	14,505	7,601	10,190	△518	802	59,784	△11,113	48,671

(注) 1. 「その他」は分析・調査・研究等のサービス関連事業等です。

2. 事業利益の調整額△11,113百万円には、セグメント間取引消去190百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△11,303百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費です。

事業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。事業利益と営業利益の関係は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
事業利益	54,421	48,671
固定資産売却益	201	760
子会社の支配喪失に伴う利益	25,066	—
固定資産処分損	△1,422	△2,614
減損損失	△1,062	△562
製品保証費用(注) 1	△3,452	△1,810
その他	45	—
営業利益	73,797	44,445

(注) 1. 製品保証費用には、「炭素繊維複合材料事業」において当社が過去に製造・販売した一般産業用途の一部製品のうち、不具合の可能性のあるものについて、その交換、補修等のために必要な費用を計上しております。

2. 営業利益と税引前四半期利益の関係は、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりです。

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。